

日時：2006年12月2日（土）12：30- 18:00

場所：[早稲田大学戸山キャンパス](#) 36号館 6階 681教室

発表要旨は[こちら](#)

研究大会（12：30-17：10）

1. 開会の言葉 会長 大貫良夫
(12：30-12：35)
2. 研究発表（12：35-14：40）
 - (1) 「ヘケテペケ川中流域の形成期遺跡群の自然遺物」 鶴見英成（日本学術振興会）
(12：35-13：00)
 - (2) 「チャンカイの土器文様」 浅見恵理（総合研究大学院大学）
(13：00-13：25)
 - (3) 「ワリ成立前夜：ワルパの土器からみたアヤクーチョと他地域との関係」 土井正樹（国立民族学博物館）
(13：25-13：50)
 - (4) 「インカ国家の終焉と崩壊をめぐって」 大平秀一（東海大学）
(13：50-14：15)
 - (5) 「テオティワカンにおける長さの単位研究とコスモロジー」 杉山三郎（愛知県立大学）
(14：15-14：40)
3. ポスターセッション（14：40-15：00）
 - (6) 「光記念館所蔵アンデスの布資料の紹介と展示手法について」 吉井隆雄、竹内健二、稲垣幸祐（光記念館）

休憩（15：00-15：10）

4. 調査速報（15：10-17：10）
 - (7) 「月のピラミッドの建造年代について：土器分析から」 佐藤悦夫（富山国際大学）
(15：10-15：30)
 - (8) 「古典期の「マヤ低地のポンペイ」とセイバル遺跡の研究」 青山和夫（茨城大学）
(15：30-15：50)
 - (9) 「チャルチュアパ遺跡タスマル地区 2005-2006年調査」 伊藤伸幸（名古屋大学）、柴田潮音（エル・サルバドル遺産局考古課）
(15：50-16：10)
 - (10) 「ウルピカンチャ遺跡2006年度発掘調査報告」 徳江佐和子・熊井茂行（明治学院大学）
(16：10-16：30)
 - (11) 「ペルー、カイエホン・デ・ワイラス、ケウシュ遺跡に見る海岸と高地の関係」 松本亮三、横山玲子、吉田晃章、須藤大輝（東海大学）
(16：30-16：50)
 - (12) 「チュルパに関する一考察-2006年パレドネス遺跡の発掘調査より-」 渡部森哉（南山大学）
(16：50-17：10)

発表要旨は[こちら](#)

総会（17：10-18：00）

1. 開会
2. 定足数確認 代表幹事 関雄二
3. 議長ならびに議事録署名人の選出 代表幹事 関雄二
4. 役員選挙報告ならびに承認 選挙管理委員会委員長 森下壽典
5. 新役員の紹介 代表幹事 関雄二
6. 2005年度事業報告 前代表幹事 横山玲子
7. 会計報告
 - (1) 2005年度決算報告 前事務幹事 吉田晃章
 - (2) 2005年度決算監査報告 前監査委員 青山和夫、長谷川悦夫
8. 2006年度事業計画 代表幹事 関雄二
9. 2006年度予算案 事務幹事 山本睦
10. 会員状況報告 事務幹事 山本睦
11. その他

懇親会（18：30-）

-
以上